

福岡大学建築展 2019 開催にあたって

福岡大学建築展 2019 は、福岡大学工学部建築学科として第 12 回目の開催でございます。前回からは、展示させていただきます作品を作者が説明できるようにと、卒業前に開催することとしました。直接作者に問いかけるなど、ごゆっくりご観覧くださいますようお願い申し上げます。

本学科は東京オリンピックが開催された 1964 年に創設され、本年で 55 年目、半世紀以上の歴史を誇っております。卒業生は 5,900 名を超え、建築界のさまざまな分野で、また、さまざまな地域で活躍しております。このように本学科においても伝統というものが生まれつつある今、更なる飛躍を期して、福岡大学建築展 2019 を開催することといたします。

さて、会場には、2018 年度の 3 年生建築設計課題における優秀設計作品、卒業計画における優秀設計作品や優秀論文、さらに大学院生によるコンペ受賞作品等を展示いたします。卒業計画は、4 年次生がそれまでに学んだ知識を生かして取り組む総括的な科目です。そこで、学生は、設計か論文を選択後、自主的に計画を立案し、推進する力が要求され、最終的には卒業計画試問会でのプレゼンテーションが義務付けられております。

優秀設計作品は、全国大学・高専卒業設計展示会へ出品する「七隈建築賞」作品、本学科同窓会・彗揚会が表彰する「彗揚会賞」作品、福岡県建築士会が表彰する「福岡県建築士会賞」を始め、「福岡大学工学部建築学科設計作品集 2018」に掲載された作品です。また、優秀論文は、日本コンクリート工学会九州支部長賞、空気調和・衛生工学会振興賞学生賞、日本都市計画学会九州支部長賞、都市住宅学会九州支部優秀学生賞等、各研究室で選出された論文です。これらは、4 年間に亘る学生たちの学習と本学科教育の集大成といえるものでございます。

ご高覧いただき、本学科への忌憚のないご意見を賜れば幸いです。

2019 年 1 月 吉日
福岡大学工学部建築学科
主任教授 趙 翔